

議会 だより

令和7年4月 167号



長野県 松川町

紙面リニューアルしました

北沢町政2年目の方針は

令和7年度 当初予算 ▶▶ **P2～6**

清流苑・IC駐車場値上げ ▶▶ **P7**

ギカイのうごき ▶▶ **P9**

10人が問う一般質問 ▶▶ **P10～15**

みんなおめでとう！

伝統の制服 最後の卒業生



3月15日 松川中学校卒業式が行われました。4月からは全生徒が新制服になります。



←松川中学校ホームページ

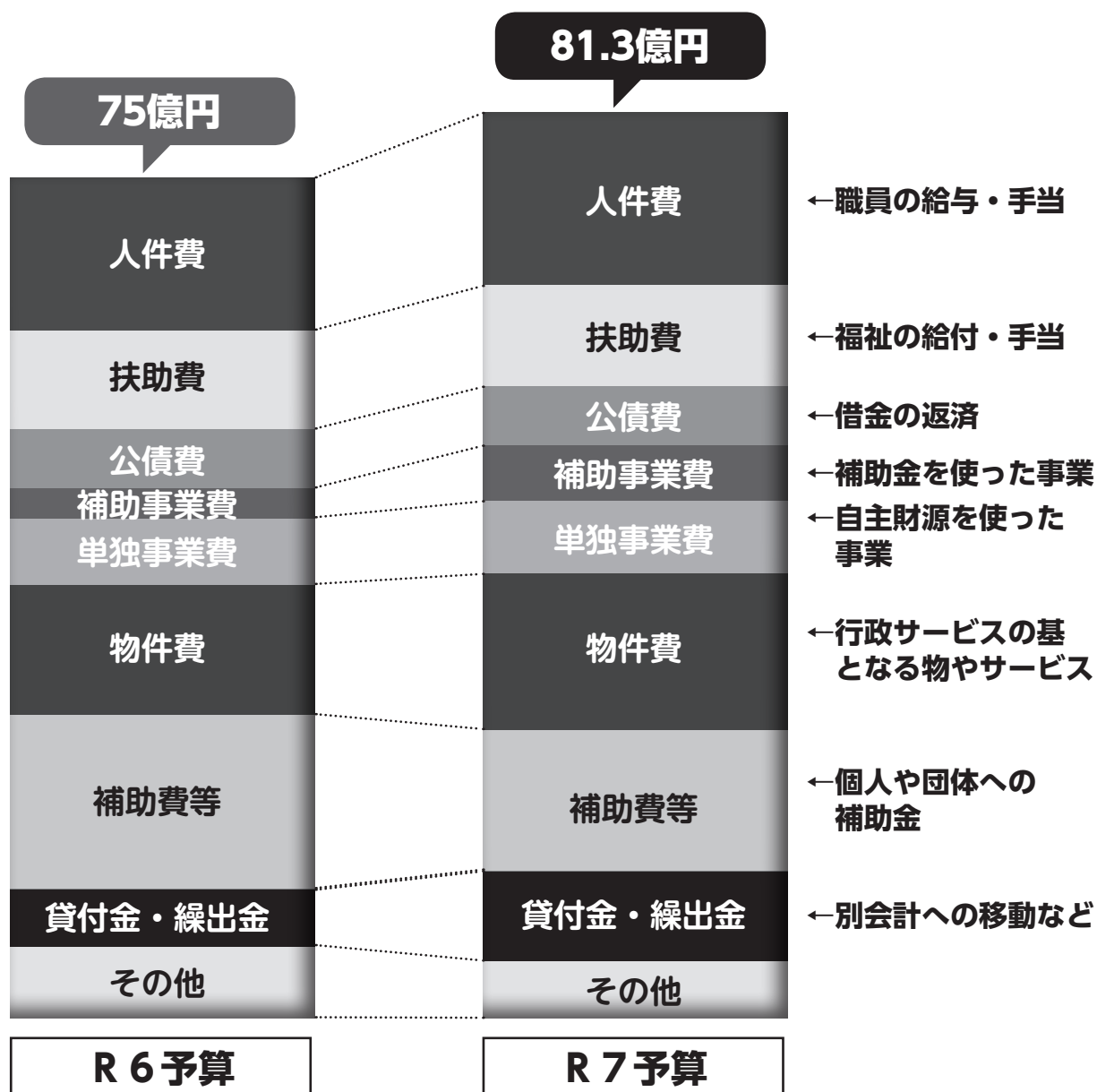
松川町議会の様子は
YouTube「松川町議会チャンネル」
でご覧いただけます



過去最大 81.3億円の 令和7年度一般会計当初予算を

3日間にわたり予算特別委員会で令和7年度一般会計、特別会計、企業会計の当初予算集中審議が行われ、賛成多数で議決された。

令和7年度一般会計予算は、前年度に比べ6億3,000万円(+8.4%)の大幅増となり過去最大の81億3,000万円となった。人口減少や少子高齢化の影響などにより大幅な増収が見込めないなか、国・県の交付金等の特定財源を最大限活用しつつも、財政調整基金から2億円、ふるさと納税基金から1億8,000万円を繰り入れた財政配分となった。



可決！

人件費増等により6.3億円の増額
進む財政の硬直化
自主財源は歳入全体の37%
松川町はどうなる？

費目	R6予算	R7予算	増減	主な内容
人件費	13億6,412万円	15億4,737万円	1億8,325万円	人事院勧告による給与見直し
扶助費	8億8,191万円	9億0,587万円	2,396万円	児童手当、自立支援給付
公債費	5億2,318万円	5億3,328万円	1,010万円	町債償還元金及び利子
補助事業費	2億7,418万円	4億9,813万円	2億2,395万円	福与天竜井取水施設、青年の家グラウンド
単独事業費	5億8,936万円	6億4,619万円	5,683万円	福与河原圃場整備、町営グラウンドLED化
物件費	11億5,668万円	14億0,954万円	2億5,286万円	戸籍・住基関係システム、ふるさと納税
補助費等	15億5,364万円	12億6,457万円	▲2億8,907万円	保・小・中給食無償化、下記「繰出金」の変更
貸付金・繰出金	5億1,374万円	8億1,242万円	2億9,868万円	国保・後期・介護特会繰出金の変更
その他	6億4,314万円	5億1,258万円	▲1億3,056万円	財政調整基金、ふるさと応援基金積立金
合計	75億0,000万円	81億3,000万円	6億3,000万円	

※金額は端数処理しているため、合計値と一致しない場合があります。



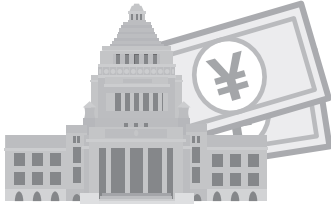
令和6年の人事院勧告に伴い、職員給与が約30年ぶりとなる高水準のベースアップ。
人件費13.4%増加



物価高騰や燃料光熱費の増加などにより物件費・建設事業費などの支出が増加



財政の硬直化が進む中、国・県の特定財源(交付金や補助金)を最大限活用し投資事業費等の予算を確保



当初予算の概要
予算編成方針
施策方針は
松川町HPにて
公開中！



令和7年度 当初予算を

チェック

議案の 質疑

保育園遊戯室のエアコン整備

2,345万円 財源▶緊急防災・減災事業債

園児が健全に安心して活動できるように「名子中央」「上片桐」「福与」の3園の遊戯室にエアコンを整備します。また、大規模災害を鑑み、想定を超える避難者を収容できるように保育園全園を指定避難所に指定します。

問 大島保育園と双葉保育園が整備の対象とならない理由は何か。また、いつまでに整備されるのか。

答 大島および双葉の両保育園は築年数が古く、大規模改修を行う場合、先行して整備を行うと二重の投資となる可能性があるため、令和7年度に改修計画とあわせて整備について検討していく方針である。なお、大規模改修自体が先送りとなる場合には、エアコンのみを先行して導入する判断も視野に入れている。



ウェルビーイング町民アンケート

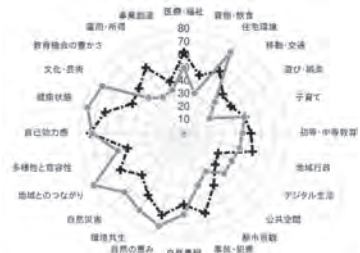
72万円

財源▶一般会計

松川町の第6次総合計画の進み具合を確認するために、町民の幸せの感じ方(ウェルビーイング)を測るアンケートを毎年実施します。

問 設問が難しいために実態と異なる結果になることも想定されるが、調査の精度を高めることはできるのか。

答 ウェルビーイング指標は国のシステムに基づいているため、設問の変更は難しい。しかし、町独自の設問や自由記述欄を取り入れることで、町の実情や町民の思いをできる限り把握できるアンケートにしていきたい。



農地利用の最適化

2,005万円

財源▶農山漁村振興交付金事業補助金

土地利用構想策定に向け、現在活動する任意団体を軸に、集落営農組織の立ち上げに向けた検討を進めます。上片桐大沢地区協議会の立ち上げ、土地利用構想の策定、生田部奈地区は話し合いにより、方向性を模索します。

問 現在活動している大沢地区と部奈地区の取り組み事例と今後の計画は。集落営農組織、地区協議会とあるが、組織的な違いはあるか。

答 大沢・部奈地区では、草刈機を導入して遊休農地の管理を行い、今後は手軽な作物の栽培も視野に作付け準備を進めている。協議会については、既存組織を活用する場合や新たに役員を選出する形など地域の実情に応じて構成される。



中学校トイレ清掃業務委託

120万円

財源▶一般会計

学校清掃活動の一部を外部委託することで放課後の時間を増やし、学習時間・生徒会活動・教育相談・学習相談など多彩な活動に振り替えていきます。

問 トイレ清掃も大切な教育の一環であるし、この予算を別の学力向上分野に使うべきでは。

答 子どもたちが全く清掃に関わらなくなるわけではない。委託によって確保できた時間を使って学習支援、生徒会活動、悩み相談、不登校対応、教員の働き方改革など多様な教育活動に充てていく方針である。



清掃委託予定の
中学校トイレ

福祉施設屋根等の長寿命化工事

1,960万円

財源▶公共施設等適正管理推進事業債

老朽化が進む社会福祉センターと特別養護老人ホーム松川荘の長寿命化工事を行います。

問 それぞれ相当の年数が経過しているが、全体的な改修を視野に入れて検討する必要はないか。

答 全体を塗装する場合の経費は桁違いに高額であり、建物の耐用年数を考慮すると、現時点ではその時期ではないと判断している。また、社会福祉センターについては補助金が交付税措置される一方で、松川荘は全額自己負担となるため、今回の対応となったものである。



屋根を修繕予定の
社会福祉センター

青年の家キャンプ場整備

1億8,048万円

財源▶新しい地方経済・生活環境創生交付金、辺地対策事業債

国の交付金及び辺地債を活用し、キャンプ場施設として炊事棟や手洗棟を整備します。

問 令和6年度にプレオープンしているが実績はどうか。年間500～600万の委託料を払っているが企画資料が1年前から進化していない。キャンプ場整備完了後に改めて広く企画提案の募集を実施したほうがよいのではないか。

答 令和6年6月にプレオープンしたが、10月までの実績は518人の利用、50万円弱の売り上げであった。企画提案の募集は今のところ考えてはいないが内容を精査する中で必要性が生じれば考えていく。



改修後のイメージ



整備内容		費用
炊事棟	炊事棟：トイレ・シャワー室、炊事場 構造：木造基礎：鉄筋コンクリート 用途：トイレ、シャワー、炊事場 面積：162.3㎡	8,086万円
手洗棟	手洗い棟：炊事場 構造：木造 基礎：鉄筋コンクリート 用途：炊事場、面積：46.3㎡	1,378万円
外構	ビオトープ工事、通路工事、フェンス工事、植栽工事	8,056万円
施工監理費		528万円
合 計		1億8,048万円

英語教育の推進

1,945万円 財源 ▶ ふるさと応援基金

民間派遣ALTを2名、英語指導員を1名体制として保育園小中学校における英語あそび、英語教育を推進。異文化理解の推進及び英語が日常的に使える人材を育成することを目指します。

問 役割が異なる人材が混在することになるが指導方針の統一はできるのか。また子どもたちへの目標設定はあるか。

答 英語専科の教職員が方針を統括する。小学校低学年及び保育園は外国語専門指導員が遊びを通して英語との接し方を作っていく。今後英検などの目標を設けるなどを検討したい。



上片桐専用側線の跡地利用

165万円 財源 ▶ ふるさと応援基金

上片桐駅北側の「上片桐専用側線跡地」を子どもから大人までが集える空間の整備をするために設計者選定に関する支援を受けながら、基本構想を策定します。

問 どのような種類の施設を目指しているのか。また完成までの想定期間は。

答 北小学校付近の人口増につながる施設を想定している。過去の要望や、現在の地域住民の意見を踏まえながら、どのような施設が望ましいのか確認しながら進めていく。期間は4～5年くらいと考える。



台城公園の遊具更新

3,003万円 財源 ▶ 防災安全交付金

台城公園の遊具は設置から40年以上経過しているため、遊具の更新を行います。

問 多くの子供に利用してもらうために、遊具更新だけではなく公園全体の整備も必要では。

答 令和5年度都市公園遊具点検において、対策の必要性を指摘されたことを受け更新することに決定した。予定している交付金は遊具更新に限られるため、公園整備までは計画していない。



産業振興のための土地利用構想

624万円 財源 ▶ 一般会計

雇用機会の創出、産業の振興や経済の活性化を目的として、企業誘致や既存企業の事業拡大のための土地利用構想の作成を進めます。

問 土地利用構想の具体的な内容は。

答 町内の土地のポテンシャル調査を行い、ビッグデータ解析を活用して候補地を抽出する。地形や交通などの状況を整理・評価し、優先的に活用すべき地区を選定する。



補正予算・条例改正等

松川インター駐車場と清流苑日帰り温泉利用料が値上げ！

2月10日臨時会にて工事請負契約の締結議案が2件可決された。3月定例会では新年度予算の他に、補正予算案、条例改正案、町有施設指定管理者案などが上程され、すべて可決された。なかでも松川インター駐車場と清流苑日帰り温泉利用料の値上げに対しては、町民割引等の可能性について質疑があった。

松川インター駐車場 24時間500円に

コロナ禍により利用者が大幅に減少。

令和2年度より管理経費が利用料を上回っており、コロナ禍以前までの回復は見込めない状況。駐車場維持のために利用料を改正。

【松川インター駐車場利用料】

1時間まで	無料	→ 変更なし
1時間超～24時間まで	400円	→ 500円
24時間超 24時間毎	300円	→ 500円

令和7年5月1日より施行

問 町民割引のような仕組みを導入することは検討できないか。

答 現在の無人の料金清算機は現金のみの対応。割引サービス券などの対応に機械の改修が必要となるが検討する。



清流苑日帰り温泉 500円→600円に

燃料費及び水道光熱費等を含めた価格高騰の影響により、歳出抑制のみでは運営が難しい状況。よって施設利用料を改正。

【日帰り温泉利用料】

中学生以上	500円	→ 600円
3歳以上	250円	→ 300円

令和7年6月1日より施行

問 今回の値上げで管理費のコスト増を補填できるのか。町外利用者と町内利用者で料金を変えても良いのでは。

答 コストを補うには利用料を1,000円以上にしなければならないが、町民の保養施設の側面もあるため100円の値上げに留めている。町内外の利用者の違いによって料金を変えることも含めて、利用料の変更は段階的に検討していく。



2月10日臨時会

3月定例会

一目でわかる審議結果

2月10日臨時会・3月定例会における議決結果をお知らせします

○賛否が分かれた議案など

議案など	議員名													結 果
	柳原 猛	小川 隼人	谷川 博昭	松下 正敏	紫芝 光雄	宮下 明	塩沢 貴浩	星野 光洋	米山 義盛	加賀 田亮	米山 郁子	坂本 勇治	松井 悦子	
令和7年度予算														
●国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決 (賛成12人)
陳情														
●「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情(陳情1)	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	不採択 (賛成3人)

(○は賛成、×は反対、議長は採決には加わりません)

○全会一致で可決となった議案など

令和6年度補正予算	
● 一般会計補正予算(第9回)	● 国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)
● 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	● 介護保険事業特別会計補正予算(第4回)
● 下水道事業会計補正予算(第3回)	● 信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算(第5回)
令和7年度予算	
● 一般会計予算	● 後期高齢者医療特別会計予算
● 介護保険事業特別会計予算	● 発電事業特別会計予算
● 水道事業会計予算	● 下水道事業会計予算
● 信州まつかわ温泉清流苑事業会計予算	
条例の一部改正	
● 使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定	
● 信州まつかわ温泉清流苑の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	
● 移住体験住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	
契約の締結	
● 令和6年度農業基盤整備促進事業 福与地区管路施設工事請負契約の締結	
● 令和6年度農業基盤整備促進事業 福与地区管理道路工事請負契約の締結	
変更など	
● 町道の廃止 ● 町道の認定 ● 町道の変更	
議員による発議	
● 松川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定(発議1)	
● 松川町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定(発議2)	

○撤回となった議案

条例の制定
● 松川町犯罪被害者等支援条例の制定

ギカイのうごき

議会は定例会以外にも様々な活動をしています。1～3月の主な活動を紹介します。



1/16 高森町議会と交流研修会

松川町議会と高森町議会の交流研修会がえみりあホールで行われました。町内視察では第63回農林水産祭の経営多角化部門で天皇杯を受賞した「なかひら農場」で農園の歴史や独自の加工技術、経営等について説明を受けました。意見交換会では「広報・広聴活動」をテーマとし松川町議会が実施したLINEサポーターや女性模擬議会、女性サポーターなどの施策を発表し活発な意見交換を行いました。



1/30・31 蓮田市議会が来町

友好姉妹都市である埼玉県蓮田市の議会の皆さんが訪れ、コロナ禍を経て数年ぶりの議会交流となりました。役場での意見交換の後、清流苑に宿泊くださいました。翌日は梅松苑を視察されました。意見交換の場では20人のうち女性議員が6名を占める取り組みなどが話題になりました。次は蓮田市に出向くなど議会においても交流を続けていく予定です。



2/26 日赤病院と意見交換会

下伊那赤十字病院において、白子隆志院長をはじめ病院事務局と議会との意見交換会が開催されました。病院側からは病院の概要、収支状況、経営上の課題(医師不足、建物の老朽化、医療機器の更新など)について説明がありました。

質疑応答では、電子カルテをはじめとするDX化の進捗、救急医療の増加、町から1.2億円の補助を行っても2.5億円の赤字が発生している現状と、その改善に向けた方策(他病院との連携など)について意見が交わされました。



3/15

サウナ棟新設・コテージ3棟リニューアル完成披露式

梅松苑でサウナ棟の新設とコテージ3棟のリニューアルを記念したお披露目式が開催されました。コテージにはロフトが新設され、家族連れでも快適に滞在できる仕様に。新設のサウナ棟はコテージ宿泊者やキャンプ利用者に貸し出されます。今回の改修を契機に、都市部からの利用客増加と梅松苑を核とした生東地域のさらなる活性化が期待されます。



3月定例会

町政を問う！

10人の議員が質問

一般質問 Q & A

一般質問は町政全般にわたって疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですが紙面の都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載しております。

1	たに がわ ひろ あき 谷 川 博 昭	11ページ	◎近隣の市町村に比べて子供の人数が少ない件について ◎町に子供を増やす(少子化対策)の財源について ◎町内の上下水道管の老朽化について
2	ほし の みつ ひろ 星 野 光 洋	11ページ	◎町の移住定住施策の現状は
3	まつ した まさ とし 松 下 正 敏	12ページ	◎農業分野での「遊休農地の解消」に対する対応策について
4	よね やま いく こ 米 山 郁 子	12ページ	◎商店街活性化で何をを目指すのか
5	し しば みつ お 紫 芝 光 雄	13ページ	◎令和6年9月実施予定だった松川町防災訓練について ◎南海トラフ地震への現在検討中の事前・事後対策について ◎病児保育について ◎入札について
6	みや した あきら 宮 下 明	13ページ	◎高齢者福祉について ◎介護保険制度の各種サービスについて ◎介護予防を含めた介護認定の状況について ◎介護保険制度の各種サービスの過不足の状況について
7	しお ざわ たか ひろ 塩 沢 貴 浩	14ページ	◎学校体育館への空調設備導入について ◎带状疱疹ワクチンの定期接種化について
8	さか もと ゆう じ 坂 本 勇 治	14ページ	◎町の子育てと教育環境を問う
9	やなぎ はら たけし 柳 原 猛	15ページ	◎行政手続きのデジタル化について ◎人口減少の具体的な原因の特定と対策について
10	か が た りょう 加 賀 田 亮	15ページ	◎区に対する町行政の関わりについて



人口対策

谷川 博昭 議員

YouTubeで視聴できます



問 松川町の少子化対策は

答 3本の柱の中で進めていく

問 具体的な目標はあるか。

答 具体的な数値目標はなく、どれだけ減少数を緩やかにできるかという考え方で事業を行っている。

問 これまでに少子化対策として行った施策、これから行う施策は何か。

答 小学校中学校の給食費の無償化、保育園における紙オムツの公費処分、こども家庭センターの設置、若者定住住宅取得祝い金を100万円まで拡充、が今までしてきた政策で、今後の政策は令和7年度事業としては、保育サポート

事業、保育園給食費の無償化の町外通園児への拡充、遊戯室へのエアコン設置事業そして土地開発公社を活用した宅地造成事業などを進めたいと考える。

問 ネット署名サイトに上がっているが、施策の一つとして二十歳の集いを8月開催から1月開催にしてはどうか。

答 様々な理由で昭和45年から8月開催となって今に至っている状況。今年度成人式で意見をいただくアンケートをとる予定。

若者たちの声が上がっていると

いうことだけではなく、町の皆さんで議論を重ねて決めていただきたいと思います。

問 少子化対策の財源は。

答 国や県の各種補助金や補助事業、ふるさと納税応援基金、発電事業特別会計からの繰入金等を利用している。

問 町が大規模農家となり運営して財源を作り出してはどうか。

答 今現在は考えていないが果樹研修生を受け入れて遊休農地等を引き継いでいくというスタンスでやっている。



移住定住

星野 光洋 議員

YouTubeで視聴できます



問 町の移住定住施策の現状は

答 環境を整えることで進めている

問 町長の移住定住に対する思いは。

答 人口減少を踏まえ食い止めていく必要があると考えるが、まずは土地開発公社を活用した宅地造成、子育てがしやすい環境を整えるなど、まずは住民の幸福度アップが大切。そこを踏まえたあと移住定住に繋がっていくと考える。

問 町の移住定住サイト「のらくら」が立ち上がった。そのコンセプトは。

答 ワンストップ窓口や移住定住支援体制の構築を、観光まちづく

りセンターに移住定住コンサルティング業務として委託している。ミーティングを重ね、サイトの作成に至った。ターゲットは都市部の若者、子育て世帯、田舎暮らしなどのスローライフを求める高齢世代を想定している。移住はご本人にとって大変な決断である。そのために必要な情報や松川町の魅力の発信等今後順次加えていく。

問 移住を希望される方に町がいかに寄り添うかが大切と考えるが。

答 令和7年度より移住移住のコーディネーターと定住支援員の

設置を予定している。役場職員とともに仕事、住まい、子育ての相談、移住体験ツアーの企画運営、地域とのつながり作りなどを担っていただく。その中で町としても自治というものが大事になっているというところはしっかりと説明をし、自治会加入等は促していきたい。

問 移住をすすめるにあたり最も大切なものは何と考えるか。

答 多くの方に松川町の魅力を知っていただき、交流人口から始まる関係人口の増が必要であると考える。移住者と受け入れ側のマッチングが重要。ミスマッチが起らないような仕組みを構築していく。

南信州松川町移住定住サイト





遊休農地

松下 正敏 議員

YouTubeで視聴できます



問 「遊休農地の解消」について

答 現状を把握し解消策をすすめる

問 遊休農地の現状と解消に向けた具体的な計画は。

答 令和6年度の遊休農地は206haで、令和3年度と比べて約30ha減少している。有機給食の取り組みや、グリーン未来事業、果樹研修生への研修補助の実施、さらに農地所有適格法人への貸借・売買の支援など、さまざまな取組の成果が現れている。

問 農地バンクの活用状況と今後の展望は。

答 農地中間管理事業では、令和6年度に新規貸借58件・面積

11.4haの実績がある。また、農地の売買支援事業では、今年度までに9件・1.9haの売買が成立している。平成26年から農地利用調整推進員を配置し取組を進めてきた結果、南信州管内ではトップの取扱量を誇り、県からも高い評価を受けている。今後も農地バンクの積極的な活用を図っていく。

問 新規就農者や企業の参入実績は。

答 果樹農業研修制度の1～5期生9名中5名が就農。令和5年度は3名、6年度は2名が就農して

いる。企業参入は農地所有適格法人9社が活動し、担い手育成や規模拡大による農業経営に取り組んでいる。

提案 学校教育の一環として農業体験を取り入れ、児童生徒が自然や食、地域の農業について学ぶ機会を作ってはどうか。また、地域のNPO法人やボランティア団体と協働し、遊休農地の草刈りや維持管理活動を進めることで、地域全体で農地を守る意識の醸成が図られると考える。



部奈の遊休農地の再生作業



新井商店街

米山 郁子 議員

YouTubeで視聴できます



問 商店街活性化は何を目指すのか

答 楽しんで買い物できる環境作り

問 商店街の将来ビジョンとして長期的な目標や計画は。

答 リニアを見据え、この10年間を活用して、松川町にお越しいただけるような魅力ある商店街作りと、地域住民側から欠かせない場所となることが大事なことであると思っている。住民に支持される取り組みをしていきたい。

問 ソフト面の事業は活発だが、歩道整備、店舗サイン、街頭の見直し、防犯カメラ等ハード面としての取り組みは。

答 ハード面での整備について、現段階では計画をしていない。要

望があれば話し合いを通じて検討していく。

問 商店街の活性化のための、新たな支援策やプログラムはあるか。

答 若者や女性による商店街を拠点としたイベントやワークショッ

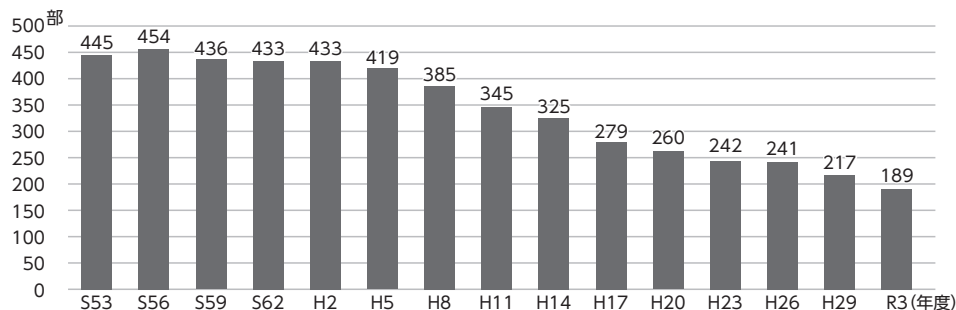
プと外部人材を活用した関係人口のためのイベント開催を計画している。

青年層を中心とした情報発信やプロモーションの活動と新たな販売促進のための地域通貨など、検討しながら取り組んでいる。

問 個々に活動しているが支援団体、商店街と行政の連携はどのように図られているか。

答 まとめていく組織はないが、連携を進めていく必要はある。

長野県商店街数の推移 令和3年度実態調査 長野県労働産業部





防災 他

紫芝 光雄 議員

YouTubeで視聴できます

**問** 防災訓練を中止にした理由は**答** 今後中止ではなく延期の方で

問 南海トラフ地震が30年以内に80%の確率で起きると報道される中、昨年9月の防災訓練が中止された理由は。

答 台風の進路予想などの理由で中止とした。しかし訓練の必要性を踏まえ、今後は順延とする。

問 大地震への事前、事後対策、またライフラインが壊滅的状況になったときの対応は。

答 非常食を生東、部奈地区に準備している。今後11,000食を5年かけて準備していきたい。災害後は、水と安否確認が大切と考える。

職員がドローンの勉強会に参加しているので、その報告を受けてドローン契約か購入かを検討したい。

意見 山間地が多い松川町では災害発生時、道路寸断等が予想される。その時、物資輸送にドローンが必ず必要になる。購入の方で一日も早い決断を願う。

問 病児保育施設が上伊那には4か所あるが南信州には現在1か所しかない。その後の進捗状況は。

答 町単独で施設を設置するのは難しいが、周辺市町村と連携し検討していきたい。

問 町の入札制度についてその後の動きは。

答 業者選定委員会は今後も内部で続けていきたい。

町内業者が入札に参加できるように努力している。一般競争入札の4,000万円については、物価上昇もあるので今後検討したい。



介護保険

宮下 明 議員

YouTubeで視聴できます

**問** 介護保険サービスの現状と課題**答** 施設サービス増、通所介護は減！

問 介護保険が始まり25年となる。各サービスの利用動向は。

答 在宅から施設入所傾向へと変わっている。昨年度までの3カ年（第8期）では第7期と比べ実績値4,320件（788件の増）になっている。逆に、通所介護と地域密着型通所介護を合わせ9,041件（386件減）だった。実態は、特養の待機者は多いが医療的ケアの必要な方は入所できないため、老人保健施設を利用している。また、介護医療院が始まり、自宅に戻ったときは訪問看護等医療系のサービスを利用

するケースが増えている。

問 「住み慣れた地域で最後まで自分らしく」、という介護保険の目的があるが。

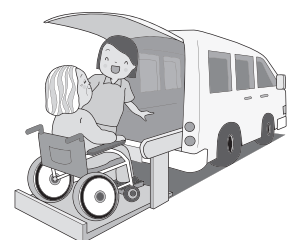
答 相談件数は昨年度比で10件ほどしか減っていない。そのなかで通所の認定が大幅に減っている。サービスはご本人に選んでいただいておりますが、ニーズが叶わないという例はあまりない。傾向として、ご家族が苦勞して自宅で介護するという例はそれほど多くないと聞いている。しかし、ご本人が自宅で、と思っけていても、核家族化や

高齢者世帯の増加により本人の希望に叶っていない可能性はある。

問 各事業所は町内の大切な社会資源でもあり、情報交換できる場も必要かと思うが。

答 公的な話し合いの場はないが、ケアマネジャー同士の会で勉強会をしている。令和7年度はアンケート調査を実施し、結果は次期介護保険計画に反映される。審議会にもかけるが、そのなかで検討したい。

意見 是非、事業者間のネットワークの構築と丁寧なアンケート調査をお願いしたい。





学校設備

塩沢 貴浩 議員

YouTubeで視聴できます



問 学校体育館に空調設備を

答 臨時交付金を使い整備する時期

問 学校体育館は普段は子ども達の教育の場であり、災害時は地域の避難所として重要な場所。空調設備整備臨時特例交付金が創設され、空調設備導入に対して町の考えは。

答 臨時交付金が創設されたことは地方にとって非常に重要であり、学校体育館の快適な環境を整えることは児童生徒の健康や学習環境の向上に寄与するものと期待する。この機会を活用し、学校体育館の空調設備の整備を研究するタイミングと考える。

問 断熱性の確保、また非常用発電機の併設など最新の技術を参考にすべきと思うが。

答 体育館を避難所として設定した場合、学校と避難所の機能の両立や、受け入れ体制の検討が必要になるので慎重な判断が必要と考える。防災担当と協議をするなかで避難所の指定を考えていかねばならない。

問 带状疱疹ワクチンの定期接種の補助率は。

答 ワクチンは2種類あり、生ワクチンに4,000円の補助。不活化

ワクチン2回で2万1,000円の補助。約半額が補助される。

問 対象の年齢と周知の方法は。

答 65歳から5歳きざみで今年のみ100歳以上が対象となる。5年かけて現61歳以上の方が補助を受けられる。定期接種の対象者には3月中旬に予診票を送付し、それ以外が任意接種となりその旨を記したチラシを4月に送付の予定。



空調設備導入のきっかけになるか



子育て・教育

坂本 勇治 議員

YouTubeで視聴できます



問 統合を含めた小中一貫校の考えは

答 今は考えていない

問 子育て環境の強化や、財源を含め将来を見据えた政策をどのように考えているか。

答 家庭の経済的負担の軽減のため給食費の無償化を始め、子どもたちが健やかに成長できる環境を整えるとともに、移住定住にも結び付けていく。学力向上や不登校対策、学校施設の老朽化など政策課題がある中で、教育環境の整備に力を入れ、特色ある教育活動を整え、次世代を担う子どもたちに必要な教育環境の充実に取り組んでいく。国県の補助金や交付金を

最大限活用しつつ、ふるさと納税などの自主財源確保に努め、子育て支援に振り向けていく。

問 町の小中学生の学力レベルの現状は。

答 各教科とも県平均より下で近隣の町村と比べても低いのが現状。

問 学力強化や不登校等の課題解決に向けた取り組み状況は。

答 職員によるチーム体制を強化して、小中学校3校が同一的一体的に取り組めるように、教育委員会が主体となって取り組んでいる。

意見 教育施設の耐用年数が迫っている、一極集中型の小中一貫校はスケールメリットが大きく、建設費や維持費、係る人員配置に関しても省力化が期待でき、教育費に掛けられる費用も増やせ、現在の課題解決に大きなメリットがある、何より子どもたちが新しい校舎で学べるメリットは多大である。

老朽化が進む教育施設

施設名	建物名	築年数
北 小	校舎	61年
中央小	校舎	58年
中学校	校舎	47年
大島保育園	園舎	50年
福与保育園	園舎	47年
双葉保育園	園舎	40年



DX化

柳原 猛 議員

YouTubeで視聴できます



問 行政手続きのデジタル化は

答 業務支援システムの導入は進んでいる

問 住民側の手続きは紙の手続きがいまだに多く感じるが、なぜか。

答 担当職員による業務の見直しが必要となるが、通常業務が減っておらず、通常業務が優先されてしまうことが主な要因である。

問 現場での具体的な課題は。

答 「DXを推進せよ」といった上からの指示だけでなく、ペーパーレス化や手続きの簡素化に取り組む意義を職員と共有する必要がある。職員の中には、そもそも何から取り組めばよいのか分からない者もいる。

問 サポートや研修は行われているか。

答 情報政策に関する研修については各課に受講を依頼しているが、庁内全体で統一的に進める体制は整っていない。

問 課題を踏まえた今後の方針は。

答 包括連携協定を締結した民間企業からの提案を各課に共有し、国の制度を活用した人材派遣も申請済みであり、採択された場合は専門人材とともに取り組む予定である。書かない窓口やキャッシュレス支払いの導入なども進めている。

きたい。

問 利用者の声を把握する仕組みはあるか。

答 毎年実施していく総合計画のアンケートや、公式LINEの仕組みを活用して住民の声を吸い上げていきたい。また、現場の職員一人ひとりが直接住民の声を受け取って改善につなげられるよう、職員の意識改革にも取り組む必要がある。



自治会

加賀田 亮 議員

YouTubeで視聴できます



問 区・自治会への依存が過大では

答 早急に問題解消に取り組む

問 当町の多くの区や自治会が高齢化、会員の減少が顕著である。役員のなり手不足や団体維持の課題は深刻だ。にも関わらず町行政は多くの業務や役職を区や自治会の長などに求めている。こういった言わば「充て職」を20件以上もの条例に明記して依存を固定化しているのは問題だ。近隣6町村と比較しても条例の数が松川町は突出して多い。区や自治会への負担と依存の高さの象徴であり、現代の事情に合わせた改変が必要では。

答 そういった民意は以前から寄

せられており、できるだけ早急に区や自治会への負担を減らしたいと考えている。指摘された条例を精査し前向きに検討したい。

意見 町が充て職を利用して住民の多様な意見を求める姿勢は理解できる。しかし巨大な住民団体であるPTAや保護者会の声を聴取する条例は2つしかない。公募を定めた条例も6件しかない。数値の上でも区や自治会への依存が異常に高いことがわかる。また、近隣6町村との人口増減率を比較すると松川町が最も減少しており、

新規居住者に「最も選ばれない町」だとデータが示している。分析すると区や自治会に依存する条例数の多さと、人口の減少にはそれなりの相関関係がある。条例の多さが人口減の原因の一つ、もしくは何らかの因果関係があると捉えることができる。区や自治会に囚われず、広く開かれた声を聞く体制を整え、速やかな均衡を図るべきだ。

市町村	2024年人口		充て職の 条例など
	増減数	増減率	
松川町	-217	-1.78	22
高森町	-164	-1.3	12
飯島町	-91	-1.05	6
中川村	-42	-0.94	2
豊丘村	-67	-1.07	15
喬木村	-84	-1.48	5
大鹿村	-14	-1.52	3

思いを持って今まつかわを盛り上げている 皆さんを **ご紹介** します

「大沢ゆめ農隊」

北島 正隆



「くだものの町」として長くこの地域の経済を支えてきた果樹農家は、後継者不足・気象災害・社会構造の変化などで環境は年を追って深刻化している。

そうした中、令和2年に上片桐大沢地区に発足した「大沢ゆめ農隊」は増大する遊休農地を有効活用し、より生産性の高い地域を目指して活動が続けている。令和6年度には研修や話し合いを通じて出てきた課題を一つ一つ解決する方向で、現場での作業にも取り組んできた。草刈りや雑木の撤去に始まり、耕起、播種、野菜の栽培、果樹苗木の植付けのほか、新規就農者の育成にも力を注いでいる。さらに新年度からは、作業効率の向上を目的とする基盤整備に向けて準備を進めている。



「部奈の風」

唐澤 和美



部奈の「農地を守る」「人を守る」「暮らしを守る」という思い・理念を掲げ発起人4人で農業法人「部奈の風」を設立し、地域の資源を最大限に生かす取り組みを行っています。粗放的な作物の栽培、新たな部奈のブランドとなるような作物として有機米、サニーレタス、さつまいもの作付けを予定しており、地域の皆さんと一緒に住民の健康と環境保全を支える取り組みを進めています。

将来的にはライスセンターの設立運営を目指し、効率的かつ地域全体に利益をもたらす、農業モデルの実現を目指しています。地域の農業、未来へとつなぐ「部奈の風」の挑戦は始まったばかり。これから地域の皆さんに希望と新しい可能性をもたらせるよう頑張りたいと思います。



I Have a Dream!

私には夢がある

未来に羽ばたく若者●子どもたち



松川中学校 野球部

野球部は「挨拶」「全力疾走」を日々心がけて練習を行っています。夏に行われる中体連。南信大会1位を目指し、練習を頑張っています。日々の練習を仲間と乗り越えて、目標達成を目指していきます。応援よろしくお願いします！
(野球部主将 松下丈留)

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

あとがき

紙面をリニューアルしました。若手中心？の編集委員となり、簡潔に、読みやすく、分かり易い紙面に取り組みました。今までお読みいただいた方には少し物足りないかもしれませんが、議会や町政に関心を寄せていただきご意見をいただければ幸いです。
(星野光洋)

広報部 (編集委員会)

(部長) 星野光洋
(副部長) 小川隼人／柳原 猛
(部員) 坂本勇治／加賀田 亮
宮下 明／松下正敏